

平成30年度まちかどミーティング会議録

開催日 平成30年11月2日（金）
地 区 拓勇地区
会 場 拓勇小学校（1Fホール）

<当日参加者との意見交換>

○司会 それでは、当日参加者との市政に関する意見交換の時間に移りたいと思います。

多くの方に御発言をいただけますよう、発言は簡潔にお一人1件ずつでお願いをいたします。残りの時間に余裕がございましたら改めてお伺いをいたしますので、よろしく願いいたします。なお、町内全体に関わらない個人的な要望ですとか苦情等につきましては、本日、市の担当者が多数来ておりますので、まちかどミーティング終了後に直接お話をしていただければと思います。また、発言の際にはマイクをお持ちいたしますので、町内会名とお名前を述べてから要点を簡潔に発言をお願いいたします。

本日のまちかどミーティングは、沼ノ端北栄町内会、拓勇東町内会、拓勇西町内会にお住まいの方を優先させていただきますので、御了承ください。それでは、市政に関しまして、日頃お気付きの点や御意見のある方は挙手をお願いいたします。はい、お願いいたします。

◆市民 北栄町内会の■■■■をしています■■■■といます。

これちょっと警察の方の分野になるのかもしれないのですが、北栄町と沼ノ端中央にまたがる踏切があるのですよね。そちらの踏切なのなのですが、踏切を越えて北側の方に入るとすぐ交差点があるのです。その交差点ですね、非常に事故が多くて、先月も2件ほど救急車が来るような大きな事故がありました。私、その近くに住んでいるものですから、救急車だとか消防車、パトカーが来たりすると、また事故なのじゃないかなというような形でいつも思っています。

南側の方も沼ノ端中央の方に、ここも交差点があるのですが、そちらは特に事故が少ないというか、何でなのかなと思いますと、やはり、一時停止の標識があるのです。ちょうど線路と並行したところに一時停止の標識があるのですが、何分にも見づらいのかなと。そうすると、南側を見ますと大きな標識ができています。そういったところで、標識となると警察の方の管轄になるのかもしれないのですが、ちょっと事故の状況だとかも一応調べていただいて、大きな標識ができれば踏切の事故が減るのかなと思っていますので、そののところをちょっと聞きたいのですが。

○司会 それでは、市から回答をお願いいたします。

◎安全安心生活課長 市役所安全安心生活課、野水と申します。交通安全対策、いつも御協力をいただいております。

今、北栄町内会、 さんから場所をいただいたのですが、申し訳ございません。ちょっと後ほど詳細な場所を教えてくださいまして、私ども毎回地域さんから危険な箇所をいただきましたら、確認をして、そういう公安委員会さんの方への要望という形をとらせていただいておりますので、一度現地を確認させていただいて、状況の方をお話伺いたいと思いますので、よろしく願いをいたします。

○司会 よろしいですか。それでは、その他にございますか。はい、お願いいたします。

◆市民 拓勇東町内会、 の と申します。

この間の地震のときですけれども、私、9時に青翔中学校にまいりまして、Wi-Fiが使えるかどうかを確かめに行くと主人に言われまして、9時のときに行きました。そのときに停電になっていまして、停電のためWi-Fiも使えないと、電源がないために使えませんというお返事をいただきました。見ますと、緊急時とか災害時に、あそこ避難所ですから、そこではWi-Fiをできるようにパスワードをお知らせしますってちゃんと出ているのですね、危機管理室の方で。それが使えない。それは電源の問題だということで、結局、電源を、各避難所には非常用電源を必ず配備してほしいというのが要望です。

それで、充電も結局、市役所に行かなければできないと。拓勇東から市役所まで車運転して行って、そのガソリンだって何ccぐらいずつしか、何リットルですか、1日5リットルとかしか配らないといたら、そのために市役所に充電しには行けませんよね。ですから、各避難所には非常用電源を必ず配備してほしいと。その電源が充電も太陽光発電とか、それからセイコーマートみたいに車のエンジンから充電できるとか、そういう形で必ずスマホの充電、それからWi-Fi使いたいとか、そういうことが皆さん情報を仕入れるのにあると思いますので、是非、お願いしたいなと思いました。

○司会 それでは、回答をお願いいたします。

◎市民生活部長 防災を担当しております市民生活部の片原と申します。いつもありがとうございます。

まず、Wi-Fiの関係なのですけれども、今回の青翔中がWi-Fiは使えなかったということで、これは御指摘のとおり、今回、ブラックアウトということで、全市域に限って電源が全部喪失されたということで、そのWi-Fiは電源はもともと北電から取っていますから、そこは使えなかったということでございます。ただ、携帯電話の通信手段は、Wi-Fiの他に、通常の通話のときにWi-Fiがないところで通話できるような状態であれば通信はできますので、Wi-Fiがなくても、一応、携帯電話の電源があれば、そこは通信は可能であるということになっておりますが、あともう一点の御指摘の中で、各避難所に非常用の電源を装備した方がいいというお話でございまして、実は各避難所にはポータブルのガソリンあるいはガスによって発電をする発電機は用意しているのですが、これはあくまでも

ちょっと非常用ということで、口数が限られているので、一般の携帯電話の充電用には、今回なかなか回せなかったという課題が残りました。

いろいろ御指摘をいただいた中で、携帯電話の電源の確保ということが、やはり今回課題ということで我々も受け止めたところでございまして、この各避難所に用意しているポータブルの発電機の中で、時間を融通しながら携帯電話等の充電を可能にするような扱いを、これからちょっと検討しなきゃならないというふうに考えております。

あと、各学校に例えばソーラーの電源を作れないかとかということもあるのですが、けれども、とりあえず緊急的に用意できるのは、やはりポータブルの電源等を複数確保するですか、できるだけ多用途で使える電源を確保するということで、一番早いのは、やはりポータブルの電源を何台か確保するのが一番早く装備できるのではないかとということもありますので、そこを含めて検討させていただきたいと。

それと、充電箇所が今回市役所だけだったという部分なのですけれども、今言った避難所のポータブル電源の他に、例えばコミセンを使えないかとか、市で所管している公共施設の中で避難所、あるいはそういう災害時の何か緊急の物資を提供できるような場所ですか、そういったことも含めて、今回さまざまな課題が浮き彫りになりましたので、皆さんからのそういった御意見を踏まえまして、次回あつては困りますけれども、そういった対策を立てていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いをいたします。以上でございます。

○司会 よろしいですか。

それでは、その他にございますか。はい、お願いいたします。

◆市民 拓勇西町の■■■■です。

今回は災害の話なのですが、今まで台風というのを何回も経験している中で、今回ありましたように、道内一円がああいう状態という考えられない災害というものに身を持って感じたわけですが、その中で今回避難場所となった各学校、拓進も停電なので、避難している人はいるのかなという感覚だったのですけれども、いて、市の方が動いて、ちゃんと皆さんが来てもできる、準備しているということで聞いたので、ああ、そうなのかなと。停電はしたけれども、水、下水道関係はいかなかったもので、避難する人までいるのかなという感じで行ったのですけれども、実際に行ったら一生懸命やってくれたのですね。ということで、人数は少なかったのだけれども、こういうときって、ちょっと町内会として何か手伝えることはあるのかなという話をしたら、ちょっと言ってくれたので、そのぐらいならできるねということで動いてくれたのですけど、一部。これは、我が町内会だけの話なので、市全体でその辺の避難場所がどの程度あったのかなということがまとまっていれば、ちょっとお聞きしたいなということですね。よろしく願いします。

○司会 それでは、回答をお願いします。

◎**市民生活部長** 市民生活部の片原でございます。

まず、避難所の開設状況なのですけれども、今回、地震発災が9月6日の3時7分ということで、震度5強という大きさだったものですから、市の場合、震度5弱で全ての避難所を開設するというような手はずになっています。それで、今回は4時半に市内38か所の小中学校をまず開けて、市内全部で47か所あるのですけれども、午前7時半にはその47か所全て避難所の担当職員が鍵を開けて、職員が配置されたというような状況でございました。

それで、今、お話の中で、町内会との連携というお話もございましたけれども、一部、ある地域の町内会さんから、例えば高齢の方が多いので、学校のちょっとフロアですとなかなか高齢の方が生活しづらいということのお話がありまして、町内会も人を出すので、町内会館を使わせてくれないかというようなお話もありまして、小学校に避難されている方が町内会館に移られて避難されたというケースもございました。そういった部分で、例えば町内会とですね、担当は危機管理室になりますけれども、あらかじめそういった協議をいただくと、我々もそこは臨機応変に、例えば町内会館である程度自主的に管理していただけるというようなお話もあれば、職員と連携をして、町内会館で避難するということでの対応は可能です。その辺、これから各町内会さんにも、今回の震災のいろいろな反省点も踏まえて、自主防災組織あるところもありますので、そういったところといろいろ、例えば今回の避難のあり方の点検ですとか、そういったお話もちょっとしながら、次回に備えるといったらあれですけれども、そういった備えはしていきたいなというふうに考えております。以上でございます。

○**司会** よろしいでしょうか。

それでは、その他にございますか。はい、お願いいたします。

◆**市民** 北栄町内会 [] です。

先ほどもいろいろと災害のことでお話が出たので、今後について市から出ているハザードマップ、震災が起きてから目を通しました。その前にも目を通していたのですけれども、長年読み返していなくて、全然、避難場所がどことか、そういうところがよく分かっていなかったということもありましたし、震度5弱では避難所が開設されるということもその中には言っておりました。今後もしましたこういう機会がありましたら、災害があったので次回また作る時はですね、町内会のいろいろな話も聞きながらハザードマップを作っていただくと、よりよいマップになるのではないのかなと思いますので、考えていただければと思います。

○**司会** お話を聞きながら作成していくということで、御要望ということでよろしいですか。特によろしいですか、回答はいいですか。はい、分かりました。それでは、

◆**市民** 一ついいですか。

○**司会** はい、どうぞ。

◆市民 地震関係なのですけれども、雨量計は沼ノ端にあるのですよね、ふだん雨量がどうこうという。ただ、震度計があるのが表町1か所ということで、もう一つ、しらかば町にもあるのですか。ちょっと分からないのですけれども、東西に長い苫小牧市であれば、やっぱり12キロずつ切ったような感じで、表町と何キロか離れたところに1か所、西の方に1か所という形で、せめて3か所地震計を設置していただきたい。これは市が設置するのか気象庁の方で設置するのか分かりませんが、要望として上げておきたいと思います。

○司会 それでは、市からお願いいたします。

◎市民生活部長 地震計につきましては、苫小牧は末広町1か所でございます。この設置については気象庁が所管しておりますので、今回いただいたようなお話は、他の地区からも実はいただいております。東西に長い苫小牧ですので、やはり今回の地震も、お話聞くと、東と西ではちょっと揺れ方ですとか被害の状況が違うのではないかなというお話もいただきましたので、こういったお話をぜひ気象庁の方には、窓口が気象台になるので、気象台の方にちょっとお話を伝えてまいりたいというふうに考えております。

◆市民 地震保険とかそういうところでも、結局、末広町の震度5強で苫小牧市全体が判断されるのですね。それが、例えば弁天の液状化が起きた厚真の隣ですよ、弁天の東港あったところがね。そうしたら、当然、厚真町の震度と似たような震度が出るはずなのだけれども、片方は震度7で片方は震度5強、この違いでいろんな国からの補助金も違ってきますので、やっぱり東西にちゃんと置いてほしいというのは、皆さんの正当な権利を主張しているのではないかなと私は思います。よろしく願いします。

○司会 それでは、その他にございますでしょうか。

はい、お願いいたします。

◆市民 拓勇東の[]です。直接、町内からの要望ではありませんが、拓勇東でもコミュニティスクールということを早く勉強したり、取組を知ってもらいたいと思いますか、市では勇払が指定されているというふうに聞いています。どの辺まで、どういうふうになっているのか、ちょっと情報だとかいろんなものを、私たちの地域だけではなくて、他のところでも、おそらくそういうことを考えている地区があるかもしれませんので、どの辺までどういう状況になっているのかちょっと。拓勇東としては1町内1小学校なので、ちょっと知りたいなと思っています。よろしく願いします。

○司会 それでは、回答をお願いいたします。

◎教育部長 教育部長の瀬能でございます。よろしく願いします。

今、コミュニティスクールのお話をいただきました。今年度から今お話があったように、勇払小学校、勇払中学校、モデル地区として、まず検証作業を進めている

ところでございます。次年度に関しては、今度、清水小学校と開成中学校を第2のモデル地区として定めて、また検証作業を行う予定でございます。この検証結果を踏まえて全市的に広げていくという形になりますので、まずは当面、この検証作業をきちっとした上で、今後、どうしていくのかといった方向性をきちっと付けていきたいというふうに思っております。

○司会 よろしいですか。

◆市民 どういう検証の仕方をしているのか、もうちょっと詳しく分ければ。

◎教育部長 今現在行っているのは、まだ実は始まったばかりで、実際、町内会の方々がどのような形で学校の運営等に関わっていただけたのかといったところを、今検証している最中でございます。今現在は学校評議員さんがいますので、そこまで深く関わり合いというのはないのですけれども、今度コミュニティスクールになってきますので、学校の運営そのものにいろんな御意見をいただく場面も増えてまいりますので、今後どういった形でそういった御意見をいただいて、それを実現させていくことができるのかといったところをさらに進めていかなければなりませんので、そういったところの検証を行っているといった状況でございます。

◆市民 実質、何もやっていない感じがするけどね。

◎教育部長 まだモデル地区を定めたばかりでありまして、コミュニティスクールは全国的な動きで、苫小牧市としても、ようやく今年から動き始めるといった状態でありまますので、もう少しお時間をいただければというふうに思っております。

○司会 他にございますか。はい、お願いいたします。

◆市民 北栄町内会の■■■■といます。この度、私どもの町内会に交流センターを開館していただいて、冒頭、お礼を申し上げます。

実は去年の説明会があったときに私がちょっと質問したのですが、名前がちょっとかた過ぎるよと。センターセンターって、中央でもないのにセンターってという話をしたのですけれども、愛称的なネーミングをちょっと付けたらどうかというお話をしたときに、その後、こども議会等があるから提案をしてみましようという話があって期待をしていたのですが、交流センターという名前になっちゃった。結果ですから、もう今さらどうしようもないのですが、ただ、質問した以上、経過がどうだったのか。果たしてそういうことをきちっとテーブルにのせてくれたのかなと。それとも、何かどうしても愛称的なネーミングは条例上難しいの。そういうことがあったのであれば、それをちょっとお聞きをして。これは文句ではございません、ただ、確認事項でありますので、よろしく申し上げます。

○司会 それでは、市の方から回答をお願いいたします。

◎青少年課長 失礼いたします。所管しております健康こども部の青少年課の亀尾と申します。ありがとうございます。

愛称なのでございますけれども、こちらの方で先ほどお話しされたとおりに、こども議会

というものがあるということで、そこでちょっと愛称を考えたいというふうにお話ししたのです。ただ、ちょっといろいろ子供たちにも意見聞いたのですけれども、まだ交流センターができていない状態で考えてもらったものですから、全くイメージがない中、なかなか愛称にはちょっとふさわしくないかなというような名前だったものですから、ちょっと今回は見送ってしまって、それをちょっと御説明をしないままオープンを迎えてしまいました。大変申し訳ございませんでした。

ただ、正式な名称はやはり条例上ということで、沼ノ端交流センターというお名前はもうこれは変えられないものですから、実際にオープンしましたので、今後、利用している子供たち、実際に本当に利用した中で何かいい名前がつけられればということで、もう少し時間をいただければというふうに考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○司会 よろしいですか。

◆市民 やるということですか。

◎青少年課長 はい、できれば愛称を付ける方向で考えさせていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○司会 よろしいでしょうか。それでは、その他にございますでしょうか。

当日参加者との意見交換の時間ですけれども、他にどなたかいらっしゃいますか。はい。

◆市民 拓勇東町内会の■■■■です。この沼ノ端交流センターのことについて、ちょっとお聞きしたいなと思います。

本当に部長さんのおかげというか、桜田智恵美さんのおかげで、やりますとって2年で完成したのですよね。ありがとうございます。本当に待っていましたので、いいセンターができてましてありがとうございます。こんなに早くできるとは私も思っていなかったのですけれども、この場でやりますとおっしゃってくださって、そして、すぐ設計図募集をやって、その説明会に私行きて、寸法がないね、これじゃ実際模型図でも作ってもらわないと、どういう施設ができるか分からないよねとか、あと1年たったら着工しますって。それから1年で本当にありがとうございます。よく頑張ってくれました。ありがとうございます。

それで、指定管理者見ました。そうしたら、その指定管理者の方はバスの運行とかもされているのですね。ですから、できましたら、北栄町の子供たちだけじゃなくて、沼ノ端地区全体の子供たち、小学校だけでも4校ありますよね。その子供たちが個人でも利用できるように、センターに行く循環バスをぜひ運行していただきたいなど。子供たちに無料使用のバスを与えて、それを見せたらそれに乗れるという形で循環バスを運行していただきたい。そうすると、それが将来的には小学校を統合した場合に、そういうバスカードというか、IDカードを使ってスクールバスの運行ということにもつながりますので、せっかくの子供たちの施設なので、

是非、そこに通うためのバスを運行していただきたいなど。それを運行するのが指定管理者にお願いできると思いますので、よろしくをお願いします。

○司会 循環バスの御提案ということですからけれども。

◎青少年課長 健康こども部青少年課の亀尾でございます。本当にすばらしい御意見ありがとうございます。私たちも本当にすばらしい施設が建ったというふうに思っています。本当に多くの方に利用していただきたいというふうに考えております。

確かに子供さんですと、自分だけで交流センターに行けない校区外のお子さんもいらっしゃると思いますので、その子供たちにどうやって利用していただけるかというのは、本当に今後考えていかななくてはいけない。ちょっと遅いかもしれませんが、オープンしてからということなので。ただ、本当にどうやったら利用してもらえるかということで、今いただいた御意見もちょっと参考にしながら、今後、智恵美さん、部長とともにいろいろ考えていきたいというふうに思っております。

◎健康こども部長 先日の沼ノ端交流センターオープンセレモニーは、たくさんの町内会の方々にも来ていただきまして、本当にありがとうございました。今、御意見をいただきまして、課長が申しましたように、多くの子供たちが、この沼ノ端鉄北の地域の子供たちが利用しやすいようにということは考えていきたいというふうに思っております。

ただ、バスということですので、条件とかいろいろなハードルもあるかというふうには思います。そこは指定管理者とともに考えてまいりたいというふうに思いますので、よろしくお願いたします。

◆市民 ありがとうございます。期待しておりますので。

○司会 それでは、その他にございますか。よろしいでしょうか。特になければ、ちょっと早いのですが、こちらの方で終了したいと思いますのですが、よろしいですか。

◆市民 はい。

○司会 それでは、これで当日参加者との市政に関する意見交換を終了させていただきます。最後に、終了に当たりまして、市長から御挨拶申し上げます。

◎市長 それでは、さまざまな御意見、御提案、御質問をいただきまして、ありがとうございました。

今、桜田部長、これはやっぱり財政部長がいるので、なかなかはっきり言えないところがあって、利用料金を取っていいとか、予算措置が要らなければあれですけども、なかなかバスの問題は他の地区でもいろいろあるのですけれども、結構、やっぱり予算規模が読めないというところもあって、何とか知恵を出して、桜田部長、頼みます。

あと、愛称の問題も僕もずっといろいろ悩みながらいるのですね。苫小牧の公共施設で愛称として一番定着しているのはアイビー・プラザです。あのアイビー・プラザは、僕でさえ本当の名前分からない。あれ本当は何ていうの、条例上の。文化

交流センター。とかですね、条例上の名前と愛称、何か「ふれあい3・3」も非常に中途半端ですよ、活動センターとか。美術博物館も「あみゅー」という公募で選んだ愛称があるのですが、これはなかなかその愛称が定着するには、ぴたっとはまるのは難しいなと思いつつながら、ある人は条例上の名前を言うし、ある人は愛称でもいいのではないかと。愛称がいいという人たちに、やっぱり愛称で施設を呼んでもらうというのもありかなとは思いつつながら、何とかアイビー・プラザのように、ぴたっとはまるような愛称があれば、多分、一番いいのかなとは思いつつながらいるのですけれども。僕はいつもその愛称で自分で表現するときに、条例上の施設名がいいのか、あるいは愛称がいいのか、いつも悩むところの一つでありますので、交流センターも皆さんの意見を聞きながら、これからは愛称ということになれば、できるだけ多くの皆さんに名前を出してもらって決めるという方向になるかと思いつつけれども、やっていきたいなと思いつついます。

それやこれや、これからは何か御意見がありましたら、町内会長さん経由でも結構ですし、市の方に声を届けていただくというのが一番大事だというふうに思いつつしますので、今後ともよろしくお願いを申し上げまして、最後の御挨拶に代えさせていただきます。今日はありがとうございました。

○司会 以上をもちまして、まちかどミーティングを終了いたします。本日はありがとうございました。